



世界の人口80億人突破

国連によると、世界の人口が15日に80億人を突破しました。人口の増加はインドやアフリカ諸国などで著しく、来年にはインドが中国を抜いて世界で最も人口が多くなるとみられています。世界の人口は、平均寿命の伸びや母子の死亡率の低下を背景に増加を続けていて、この12年でおよそ10億人増えたそうです。また、南アジアの一部の国やアフリカなどでは今後も人口の大幅な増加が見込まれていて、2050年までに増える世界の人口の半数以上は、アフリカのサハラ砂漠以南の国々になる見通しだということです。

一方で日本を含む61の国や地域では、出生率の低下などから2050年までにそれぞれ人口が1%以上減少すると、予測されています。

急速な人口の増加や高い出生率が続くことについて、国連の経済社会局は、子どもたちへの教育が追いつかず、社会の発展を妨げるおそれがあるとしています。その上で、ジェンダーの平等などを推進することで、高すぎる出生率をより安定したレベルに移行させることが可能になるとしています。

今一度、「教育は人づくり」の原点に立ち返って、未来に向けた投資、つまり教育の充実を図るべく、国を挙げて本気で取り組む必要があると思います。

地球の住人の80億人の中の一人として考えた出来事でした。



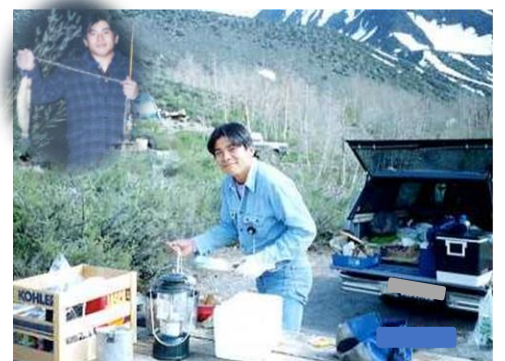
●ひこうきぐも✈ vol.11

初めてアメリカでキャンプをしたときのことで。車をロサンゼルスから何時間も走らせ、やっとマンモスという山間にある、キャンプ地に着くと、ギョッとする看板を見かけました。『熊注意』と書いてあるではありませんか。何でもキャンプに来る人たちの食料を目当てに、山中から現れるそうです。暑いロサンゼルスとは対照的に、キャンプ地には、まだ雪が残っており、食料探しも熊にとっては容易ではないようです。

熊の陰に少し怯えながら、早速釣りの準備をしました。ここでは、ニジマスが釣れるようで、期待に胸を膨らませていました。

一日目、ブラウン・トラウトという小物は、何匹か釣れましたが、ニジマスの影さえ見ることができませんでした。二日目、朝早く起きて、たくさんのポイントを探ってみました。当たりはありませんでした。途中白樺の森の中から、小鹿にジーツと見つめられ、苛立つ私の心も和まされました。少し諦めかけていたそのとき、ガツンという強烈な当たりがありました。大物です!!その魚は体をくねらせながらグイグイと釣り竿を引っ張っていき、私も2歩、3歩と前へ進まざるを得ませんでした。タイミングを合わせてグッと釣り竿を引き上げた瞬間、それは川から姿を現しました。何と30cmオーバーのニジマスです。魚体は日光に照らされて、きらきらと虹色の光を放ち、顔は精悍な顔つきをしていました。

しばらく大物を釣った余韻に浸ったあと、アメリカで教わった自然の中での教えである「とっていいのは写真だけ、残していいのは足跡だけ」という言葉通り、ニジマスをリリースしました。「またいつか会おう。」と言いながら。



※「ひこうきぐも」は、あくまでも荒木が旅をした当時、約30年前の街の様子です。現在とは状況に違いがあることをご了承ください。